

日本ユニシス株式会社

2013年3月期 第1四半期決算説明会（2012年8月1日開催）

主な質疑応答

（ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。）

Q： 第1四半期の受注残高が大きく伸びているが、そのうち今期に売上計上される分はどの程度伸びているのか教えてほしい。

A： 第1四半期末の受注残高（前年同期比209億円増）のうち、今期売上計上予定分は前年同期末比で88億円増加しており、受注残高は今期売上計上分、来期以降売上計上分ともに順調に積み上がってきている。

Q： 第1四半期のソフトウェアおよびハードウェア販売の受注高が大きく増加しているが、第1四半期ですでに売上に計上されているのか、この先の分も入っているのか教えてほしい。

A： 第1四半期ですでに売上計上されているものも一部あるが、大型のサーバ更改案件も複数計上されており、第2四半期以降に計上される分も含まれている。

Q： システムサービスが増収減益となっているが、第1四半期での不採算の発生状況を教えてほしい。

A： 第1四半期の不採算引当については、複数案件において、今後本番稼働までに見込まれるコスト超過額を引き当てた結果、前年同期を上回ることとなった。なお、現時点で今後見込まれるコスト超過額は全て引き当てている。

Q： 第1四半期の営業利益は初の黒字化となり、足元の受注環境も堅調なことを考えると、上期の営業利益は会社見通しを上回る可能性があるのではないか。

A： 当第1四半期の営業利益は、一部前倒し案件の計上もあつたことなどから、社内計画を上回る着地となった。前期の第2四半期がかなり好調だったことから予断は許さないものの、上期の見通し達成に向け順調に推移していると考えている。

（注）本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。